

## 第2回 京田辺市産業振興ビジョン推進委員会 議事要点

区分	内容
各部会の審議結果報告・意見交換（農業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の農業分野における現状と課題及び（今後の）具体的な取組方策を人、物、土地（農業者、農産物、農地・環境）ごとに取りまとめた。</li> <li>・ビジョンはどうしても総花的になってしまうので、少し強弱をつけるということが非常に重要。</li> <li>・有害鳥獣駆除事業という、従来は駆除してそのまま捨てていた。現在、ヨーロッパで行われているようなジビエ料理などそういった形で活用していこうという動きがある。そういう観点からの議論も必要ではないか。</li> </ul>
各部会の審議結果報告・意見交換（商業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「顧客」「担い手」「物」「土地・環境」「PR」の5つの分野に分けて現状と課題を取りまとめた。</li> <li>・（今後の）具体的な取組方策は、「顧客」「担い手」「店舗・商品」「土地・環境」の4つの観点から取りまとめた。</li> <li>・本市に宿泊施設を呼び込むということはできないか。積極的に動かないと、様子見だけではなかなか進まない。</li> <li>・公共交通利用者への支援について、具体的な案はまだ固まっていない。</li> <li>・公共交通の利便性向上については運賃というよりもルートの問題。</li> <li>・ビジョンのところに、「市内外の人々が集い、にぎわいと活力あふれる」とあり、その下には集積地や商業集積地でも書かれているが、具体的な取組方策とは必ずしも合っていない。</li> <li>・人を呼ぶためには商店街そのものの魅力を上げることも必要だが、例えば京田辺市の中で市役所と商店街が離れているが、商店街の中に日常的にできるような市の事務的機能をもったものやあるいは文化施設があればいい。まずは人を集めなくてはいけない。（文化施設については意見交換の中で賛否あり）</li> </ul>
各部会の審議結果報告・意見交換（工業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題及び（今後の）具体的な取組方策を、担い手、製品・販路、土地・環境、その他の4つに分類して取りまとめた。</li> <li>・ビジョンにつながるキーワードは、①出会いー知り合いー結びつく（市民と企業、企業と企業、企業と行政）②大都市へのアクセス（人・モノ・金の出入りが盛ん）、教育・研究機関（同志社、学研都市）の充実、多様な企業の存在という強み③「住環境が整ったまち（現在）で働きやすい（未来）を」「住みよく、働きよいまち」④産学公を繋ぐコーディネート機能の充実⑤地域ブランド発掘、住民力と企業力（地域ブランドに付加価値をつけてPR、地元に興味を持ちたくなる仕組みづくり）の融合⑥まちの発展（住みやすい環境づくり）に繋がる工業振興の6点。</li> <li>・市内企業に來られた方を接待する店が少ない。市内に魅力的な店が増えれば今後、宿泊施設の誘致に対して希望する企業も出てくるのでは。また、京田辺の魅力が向上すれば企業の従業員の市内消費、市内居住にもつながる。いい回転ができるような取り組みが必要。</li> <li>・産産連携や産学連携のコーディネートには銀行の協力が必要なのではないか。</li> </ul>
各部会の審議結果報告・意見交換（観光）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題は、観光客、施設、商品、担い手、PR、サービス・イベント・連携、周辺環境・地域資源の7つに分類して取りまとめた。</li> <li>・理想的な将来像は、「市民が郷土愛ととんちをもって安らぎと潤いのある観光地づくりを行い、市内外の観光客が一休みできるまち」。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(今後の) 具体的な取組方策を、観光地、担い手、観光客、商品の4つに分類して取りまとめた。</li> <li>・ツアー・オブ・ジャパンのスタート地点は普賢寺ふれあいの駅。主たるコースは精華町との境界で最終的なゴールはけいはんなプラザである。しっかりと集客に取り組まないと、京田辺にお金は落ちないのではと危惧している。</li> <li>・東京オリンピックを契機としたインバウンドも、ただ単にインバウンドではなく、ターゲットを絞ったほうがいいのでは。戦略的な取組みが必要。</li> <li>・普賢寺ふれあいの駅をしっかりと整備・拡充して、リピーターを増やし、市外からも来てもらえるような活用ができないか。</li> <li>・部会ではかなり具体的な話をしたにもかかわらず、(事務局案は) 総花的で何をやりたいのかイメージできないまとめ方になっている。市民にパブリックコメントを求めるのであればもっとターゲットが見えるように具体的に書いた方がいい。</li> <li>・テーマパークを作る人はいない。営業にならない、経営が成り立たない。</li> </ul>
<p>ビジョンの施策体系と 連携分野について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の目指す将来像と目的、期待する効果を見えやすいよう関係やつながりを意識して施策体系図を(事務局で)作成した。</li> <li>・分野別ビジョンは10年先の理想的な姿を文章にしたもの、基本方針は分野別ビジョンが具体的にどんな姿かを書いたもの、基本戦略は基本方針を具体的な事業に落とし込む際にどういう展開を想定して取り組むべきかというのを示したもので事業の目的にあたる部分。重点施策は、ビジョンを実現するために特に重要だと思われる事業。</li> <li>・地図、イメージ図、ゾーニングがあるのが大事。</li> <li>・夢を描くのもいいが、ビジョンを実現するための弱点、障壁も課題として書いたほうがいい。</li> <li>・短い期間にそれなりの体制を取って実施できる施策の話をするべき。</li> <li>・ビジョン全体の数値目標は難しいかもしれないが、細かな部署ごと(施策ごと)の目標はこれからの時代に必要。</li> <li>・出てきた意見をすべて重点施策として書いているのはなぜか。もう少し絞るべきでは。総花的に見える。</li> <li>・分野に落とし込む前に全体のビジョンを立てるはずだったので、そこをまず固める必要があるのでは。</li> </ul>